

企画パート総括

【企画概要】

医療機器の特許を賭けての対決と称し、企画出場者（他大2名）を競わせた。
今回行った競技は「心電図イントロクイズ」「部位当てクイズ」「カロリー計算クイズ」「髪の毛早抜きクイズ」の4つである。

【各競技について】

- 「心電図イントロクイズ」
心電図の波形に合わせてイントロが難易度別に3回流れ、何の曲かを当てるゲーム。後ろのモニターに流れる映像と組み合わせる、番発のテーマに寄せられた、などいろいろな面で作り込むことができた。会場の反応も良く、今回で1番の成功だと思われる。
- 「部位当てクイズ」
体の一部が写った画像を見て、どちらが正解かを当てるゲーム。クイズ自体はシンプルだが、問題文でトンチを利かせたり、画像全体が出た時の意外性など、ある程度狙い通りの反応をもらえた。
- 「カロリー計算クイズ」
20個の食材のうちから5個選んで800kcalに近づけるゲーム。選んだ食材は45秒以内に食べてもらい、間に合わなかった場合、100kcalが加算される。リアクションペーパーの感想では褒めていただいた部分もあったが、正直、太田の作ったプログラムのおかげで様になった感があった。また、このゲームのリハーサルがしにくい部分があり、時間が延びてしまった原因となってしまった。
- 「髪の毛早抜きクイズ」
人形の髪の毛を抜いたら10秒の解答時間と問題が与えられる、といった一風変わったゲーム。時間の都合により、予定の問題数よりも少なくなってしまったが、それが逆にちょうど良くなったと考える。会場の雰囲気か思っていたようなものにならなかった。反省としては、ルールの説明を1回例題で実演してみるなど、わかりやすくすれば、もう少し楽しめたかもしれない。

【問題点】

- 「リハーサル不足」
リハーサル不足による時間の延長など、問題が起こってしまった。なるべく早く問題形式を決定できるように努力する必要がある。
- 「仕事の分配」
今回の番発準備では、案出し以外の行程をほとんど全てパート員中心に行ってもらった。1つはパート長である私が管理に力を置くため、もう1つはパート員に充実感を味

わってもらったためである。しかし、問題が発生した。仕事を振り分けたまではいいが、振り分けられたパート員が全ての疑問点を自分に聞いてきてしまい、結局、全ての部分に自分が関わる形になってしまった。改善点としては仕事を役職として振り分けることが挙げられる。

【最後に】

企画パートも含めた皆さん、番発お疲れ様でした。今回色々なパートで新たな試みが為されたと思います。次の引退番発、また頑張りましょう。また、来年の駿河台番発も頑張ってください。お疲れ様でした。